

報道関係者各位

2026年8月26日
株式会社共同通信PRワイヤー

共同通信PRワイヤー、25周年記念の特別インタビュー連載を開始

企業広報・創業の当事者・報道の現場という三つの立場から、プレスリリースのこの四半世紀を聞き取る連載を開始。

第1回は、大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次氏。

紙焼き写真と記者クラブの時代から、生成AIが浸透する現在まで、広報が変えたものと変えなかったものをたどる

株式会社共同通信PRワイヤー（本社：東京都港区、代表者：代表取締役社長 井原 康宏、以下「当社」）は、サービス開始25周年（2026年9月3日）を機に、連載「PR WIRE 25周年 特別インタビュー」を開始しました。第1回として、大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次 氏へのインタビューを、2026年8月26日に公開しました。

※当社サービス「PR WIRE（ピー・アール・ワイヤー）」は、2001年9月3日に、日本で初めて世界標準のプレスリリース配信モデルを導入したサービスです

▼第1回「広報とは、信頼を守る仕事。」大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次 氏

<https://kyodonewsprwire.jp/corp/articles/10964/>

▼特設サイト「PR WIRE 25th Anniversary | 日本で、最初。」

<https://kyodonewsprwire.jp/corp/lp/25th-anniversary/>

— • SPECIAL INTERVIEWS • —

それぞれの立場から、25年を語る。

企業広報として、創業の当事者として、情報の受け手として。それぞれの立場の証言からPR WIREの25年をたどる連載
「PR WIRE 25周年 特別インタビュー」です。



MEMBER 企業広報として

Vol.01 「広報とは、 信頼を守る仕事。」

大和ハウス工業株式会社
広報企画部長 松田 英次 氏

2004年のご入会から22年。大和ハウス工業の情報発信を担う松田氏に、プレスリリースを通じて何を届け、信頼をどう積み重ねてきたのかを伺いました。

ご利用年数
22年(2004年～)

現在
継続ご利用中

インタビュー全文を読む→

▲特設サイトの「特別取材」セクション。第1回（Vol.01）として大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次 氏のインタビューを公開。

■ 連載の背景

プレスリリースの届け方は、この四半世紀で変化してきました。紙焼き写真とFAX、記者クラブへの投函から、メール、Web、そして生成AIの活用まで。当社は2001年9月3日のサービス開始以来、その変化の中で、企業・団体の発信を報道機関へお届けしてまいりました。

一方で、その25年がどのようなものだったかを最もよく知るのは、当社ではなく、実際に発信を担ってこられた広報の現場です。25周年という節目にあたり、この四半世紀を実際に歩んだ方々に聞き取りをし、記事として残すことにしました。

■ 連載の構成 — 三つの立場から聞く

本連載は、プレスリリースという仕組みを、立場の異なる三者から見た記録として構成します。

- **企業広報として**：「PR WIRE」をご利用いただいていたお客様に、広報の現場がどう変わってきたのかを伺います。
- **つくった側として**：2001年のサービス立ち上げに携わった当事者に、なぜこの仕組みを日本に持ち込もうとしたのかを伺います。
- **情報の受け手として**：プレスリリースを受け取る報道の現場の視点から、情報の流れがどう変化したのかを伺います。

共同通信PRワイヤー、25周年記念の特別インタビュー連載を開始 / 2 / 5

第2回以降は、2026年9月以降に順次公開する予定です。

※取材先・公開時期は、いずれも現時点の予定であり、変更になる場合があります。

■ 第1回：大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次 氏

大和ハウス工業株式会社がPR WIRE に入会されたのは、**2004年6月**。サービス開始から3年目にあたります。当社に保管されている当時の入会申込書に記入されたのは、大阪で広報を担当されていた頃の松田氏でした。以来22年、現在も継続してご利用いただいています。

記事では、広報歴31年目を迎えた松田氏に、配信サービス以前の広報から今日までを伺いました。写真を紙焼きで用意し、剥がせる糊を付けて資料に貼り、記者クラブへ届けていた時代。そして、生成AIが制作の工程に入りつつある現在。手段が入れ替わるなかで、大和ハウスの広報が変えたもの、変えなかったものが語られています。

■ 25周年に寄せて

伝えたい情報を伝えたいメディアに、いかにして届けるかは、広報部門が常に持つ課題です。一方でメディアの種類・形式も時代と共に変わり続けます。共同通信PRワイヤーには、それらの変化をいち早く捉え、情報を届けるサポートをお願いできる広報部門の良きパートナーとして、引き続きサービスを充実させていただきたいと期待しています。

■ あわせて公開、「お客様の声」に大阪府堺市のインタビューを追加

特設サイトの「**お客様の声**」セクションに、25周年記念として新たに取材したインタビューを1件追加公開しました。

クックビズ株式会社（cookbiz）、株式会社赤ちゃん本舗（アカチャンホンポ）、立正大学に続く、25周年記念の新規取材4社目。自治体の広報の現場でPR WIRE がどのように活用されているかをうかがいました。

「お客様の声」では、業種を横断するインタビューを「**25の声**」として掲載しており、以降も新しい声を追加してまいります。



▲特設サイト「PR WIRE 25th Anniversary | 日本で、最初。」。2026年9月3日の25周年までのカウントダウンを掲出しています。

■ 今後の公開予定

今後も、コンテンツを順次追加します。2026年9月3日のサービス開始25周年当日には、創業の経緯、代表メッセージなど、新たなコンテンツの公開を予定しています。本連載も、第2回以降を9月以降に順次公開してまいります。

※上記の公開時期・内容は、現時点の予定であり、変更になる場合があります。

■ 連載概要

連載名	PR WIRE 25周年 特別インタビュー
第1回	「広報とは、信頼を守る仕事。」大和ハウス工業株式会社 広報企画部長 松田 英次 氏（2026年8月26日公開）
取材・構成	共同通信PRワイヤー

■ 特設サイト概要

名称	PR WIRE 25th Anniversary 日本で、最初。
URL	https://kyodonewsprwire.jp/corp/lp/25th-anniversary/
今回の更新	連載「PR WIRE 25周年 特別インタビュー」を開始／「お客様の声」に大阪府堺市のインタビューを追加（2026年8月26日）
今後の更新予定	2026年9月3日の25周年に向けて新たなコンテンツを公開予定

■ 会社概要

会社名	株式会社共同通信PRワイヤー（英名：Kyodo News PR Wire）
設立	2001年6月（サービス「PR WIRE」開始：2001年9月3日）
代表者	代表取締役社長 井原 康宏
所在地	東京都港区
事業内容	国内・海外向けプレスリリース配信サービス、メディアクリッピング、AI対策（LLMO）支援、広報・PR担当者向けメディア運営（汐留PR塾）等
グループ	共同通信社グループ
公式サイト	https://kyodonewsprwire.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社共同通信PRワイヤー 25周年企画・広報担当：金光成珠

TEL：080 7522 7536／ E-mail：prwire.25th@kyodonews.jp